

取扱説明書



国産車用ラジエターリーク+キャップテスター

注文コード:06616164

このたびは、国産車用ラジエターリーク+キャップテスターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要です、必ずお守りください。



警告

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。



注意

この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。



警告

- 本商品は水冷エンジンの冷却水もれの場所を特定するための専用工具です。
本来の用途以外での使用は、絶対にしないでください。
- 使用前は、圧力ポンプやホース、その他アダプターに破損や不具合が無いかを必ず確認してください。
- 必ずエンジンが停止した状態かつ、冷却水が冷めた状態で作業を行ってください。
エンジン(冷却水)が冷めていない状態での作業は、冷却水の噴き返しや、やけどの恐れがあるため大変危険です。
- 圧力のかけ過ぎは絶対にしないでください。一般的な国産車の目安は、最大で130kPa程度で調整してください。
過度の加圧は、冷却系の破損につながります。
- 冷却水がヒーターコアから漏れている場合は、室内に冷却水が漏れだすおそれがありますので十分ご注意ください。
- 冷却水が不足している際は、テストを行う前に必ず補充を行ってください。不足した状態では正確な点検ができません。
- 減圧の際は、リリースバルブから冷却水が噴き出す場合があるので、十分注意し慎重に行ってください。
- ご自分で分解や修理、改造は絶対にしないでください。
- ご使用の際は、必ず保護手袋と保護メガネを着用してください。
- 冷却水には人体に有害な成分が含まれます。目や口に入らないように十分注意してください。

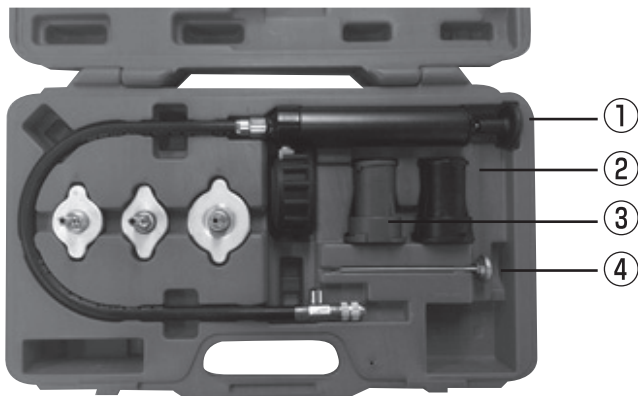


注意

- 使用後は必ずきれいに清掃してから、専用ケースに収納してください。
- 冷却水が衣服や塗装面に付着した際は、直ちに流水で洗い流すか拭き取ってください。
- テスト後、冷却水が噴き返したりこぼれた際は、冷却水を補充してからキャップを締めてください。

2 セット内容

- ①圧力ポンプ
- ②リークテスト用アダプター(3種類)
- ③キャップテスト用アダプター(2種類)
- ④水温計



③ 使用手順

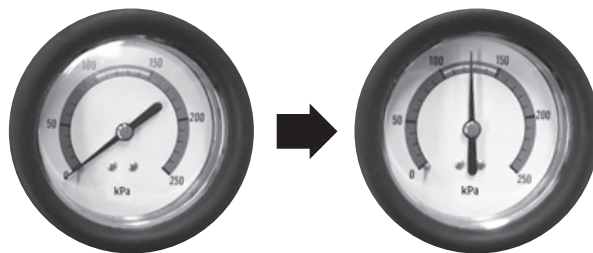
【1】冷却水漏れの確認

※必ずエンジンが停止した状態かつ、冷却水が冷めた状態で作業を行ってください。

エンジン(冷却水)が冷めていない状態での作業は冷却水の噴き返しややけどの恐れがあるため大変危険です。



■ラジエーターキャップを車両から外して、3種類のアダプターの中から、適合するサイズのアダプターをセットします。



■①の圧力ポンプをアダプターに取り付けてください。

●最大圧力がゲージの130kPaを超えないように、十分圧力計の数値を注意して慎重に加圧(ポンピング)してください。

※圧力のかけ過ぎは絶対にしないでください。一般的な国産車の目安は、最大で130kPa程度で調整してください。

過度の加圧は冷却系の破損につながります。

■もし冷却水漏れを起こしている際は、加圧した圧力で冷却水が漏れてくるので、簡単に漏洩している場所を見つける事が可能です。

※冷却水がヒーターコアから漏れている場合は、室内に冷却水が漏れだす恐れがありますので、十分注意をお願いします。

※必ずエンジンが停止した状態かつ、冷却水が冷めた状態で作業を行ってください。エンジン(冷却水)が冷めていない状態での作業は、冷却水の噴き返しや、やけどの恐れがあるため大変危険です。



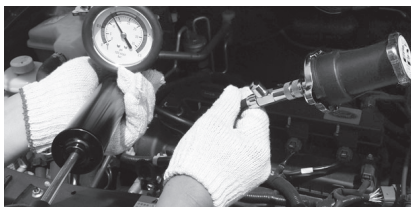
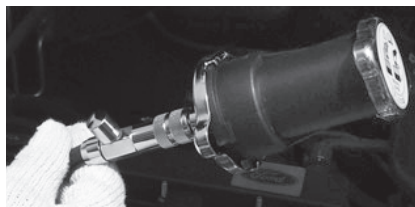
■点検が終了したらホースのリリースバルブを開いて(ボタンを押し)、慎重に圧力を抜いてから接続と逆の手順で取り外してください。



※減圧の際はリリースバルブから冷却水が噴き出す場合があるので十分注意し慎重に行ってください。

※テスト後、冷却水が噴き返したりこぼれた際は、冷却水を補充してからキャップを締めてください。
※こぼれた冷却水は水道水で洗い流すようお願いいたします。

【2】ラジエーターキャップの点検



■点検するラジエーターキャップに、2種類のアダプターの中から適合するサイズのアダプターを選択しセットします。

また、3種類のリークテスト用アダプターの中から、適合するサイズを選択し、セットし圧力ポンプを取り付けます。

■加圧(ポンピング)をしていくと、ラジエーターキャップの開弁圧を超えた時点で、アダプター穴から圧力が抜けるので、開弁圧を点検します。

■点検後はリリースバルブを開いて(ボタンを押し)、圧力を抜いてから接続と逆の手順で取り外してください。

※使用後は必ずきれいに清掃してから専用ケースに収納してください。